

厚生労働省群馬労働局発表  
令和6年12月18日

【照会先】

群馬労働局労働基準部監督課

監督課長

五十嵐勇樹

過重労働特別監督監理官

岩間 祐央

( 電 話 ) 0 2 7 - 8 9 6 - 4 7 3 5

報道関係者 各位

ベストプラクティス企業の長時間労働の削減等の取組

～ 労働局長・高崎河川国道事務所長が沼田土建株式会社と意見交換を行いました ～

群馬労働局(局長 うえのやすひろ 上野康博)は、国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所長と合同で、令和6年11月20日、長時間労働の削減等に積極的に取り組む今年度のベストプラクティス 企業 沼田土建株式会社と3社で意見交換を行いました。

【意見交換日時】

令和6年11月20日(水) 午前10時～午前11時50分

【ベストプラクティス企業】

名 称 : 沼田土建株式会社  
所在地 : 群馬県沼田市西倉内町593番地  
事業内容 : 建設業

【取組の概要】

- ICT (※) 施工(電子小黒板など)を積極的に取り入れた結果、生産性が向上
- Web会議、ビジネスチャット導入により、現場まで直行直帰を行って移動時間を削減しつつ、円滑な情報共有や意思決定等を迅速化
- 勤怠管理システムを導入する際に、社内説明会を開催し、社員の意識改革
- バックアップ部署「企画室」の設立により、現場担当者の業務を軽減
- 請求書処理業務のDX化
- 女性の再就職応援宣言を行い、女性活躍を促進

【取組の結果】

- ◎ 2020年から所定休日を年間13日増やしつつ、職員1人当たりの月平均時間外労働時間数を半減(約18時間 → 約8時間)
- ◎ 請求書処理業務日数を10日から4日に、大幅短縮
- ◎ 職員1人当たりの年次有給休暇の平均取得日数は、2020年から約2日増加し、年間12.2日

詳細は別紙のとおりです。

※Information and Communication Technology(情報通信技術)の略称

◆ 生産性革命 (i-Construction 発表)



【ベストプラクティス企業との意見交換】

2016年に国土交通省が、「ICTの全面的な活用（ICT 土工）」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す新しい取り組みである i-Construction（アイ・コンストラクション）を発表。

沼田土建株式会社では、この発表の前年から ICT 土工を取り入れた。当初、ICT を外注で取り入れたため、今後の人材育成の必要性を実感するとともに、ICT が若手社員のやりがいになると考え、社内で i-Construction に取組むことを決断。

5つのポイントとして、

- ・社内体制や施工プロセスの見直し
  - ・若手社員や女性社員の活用を視野に入れた体制づくり
  - ・新技術を自社のノウハウとして蓄積
  - ・小規模土工への積極的な活用
  - ・技術的ハードルが高すぎず、導入の効果を実感しやすいツールの選択
- を挙げた。

当時、社内の課題として、従業員の高齢化、担い手不足、長時間労働、市場環境の変化などがあり、これらを改善する効果も期待された。



【上野群馬労働局長 挨拶】



【杉崎高崎河川国道事務所長 挨拶】



【青柳沼田土建株式会社代表取締役 挨拶】



## ○ ICT の導入手法

ものづくり補助金を活用して購入した3D スキャナーや ICT 建設機械を使用し、社内自前の模擬現場で6年前に研修実施。営業担当にも受講させ、ICT の効果を社内全体で実感するとともに、ICT 人材を育成。



【社内における ICT 研修の様子】

## ○ 電子小黑板 (2018~)

早く・簡単に・目に見える効果を実感できる電子小黑板を社内標準化。手元作業員が不要、見た目が良い、自動振り分け機能による省力化などの効果に加え、黑板を持ち運ぶ必要がないことによる安全性も向上した。



【電子小黑板を用いた施工状況の写真】

### 取組の効果

- ◎ 作業時間： 2日間 → 2時間
- ◎ 作業人員： 2人 → 1人
- ◎ 安全性の向上（黑板が不要）

## ○ i-Construction 大賞・優秀賞受賞

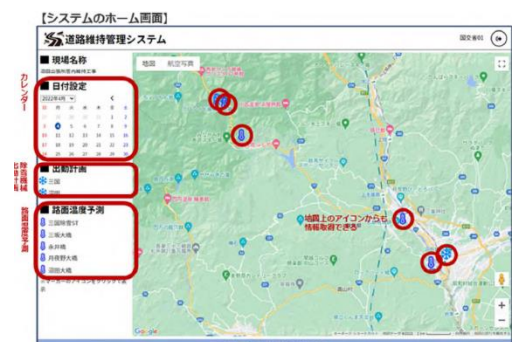
- ・ 20代の若手技術者を中心に3次元データを作成
  - ・ 女性社員が3次元測量を担当
- i-Construction 大賞の優秀賞受賞に至った。



## ○ 地域で取組む DX

- ・ 「道路維持管理システム」を構築  
(建設 IT コンサルタント、大学と連携)

除雪作業に必要な機械と待機人員について、これまで現場監督者の経験に基づき行っていたものを、様々なデータを活用して待機人員、出勤時間を見える化。

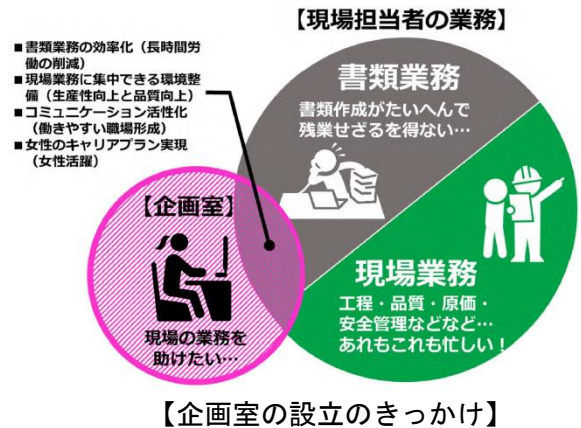


【構築した「道路維持管理システム」】

## ◆ 時間外労働削減（働き方改革）に向けた具体的な取組

### ○ 「企画室」の設立と女性活躍

現場担当者の業務は、現場業務に加え、書類業務による時間外労働が多くなっていた。  
⇒ バックアップ部署となる企画室を設立し、書類業務や3D スキャナーを使った3次元測量、ドローンを使った写真、点群データの処理作業など、現場担当者をサポート。



### 取組の効果

- ◎ 現場担当者の時間外労働削減、現場作業の生産性向上と品質向上
- ◎ 企画室に女性を配置し、女性のキャリアプラン実現（建設ディレクター認定）
- ◎ 「女性の再就職応援宣言」企業となる



【女性の再就職応援宣言企業】

### ○ 就業規則の改定及び年次有給休暇の取得推奨

週休2日制導入のため、年間休日数を大きく増やすとともに、会社カレンダーに有給取得推奨日を表示



有給取得推奨日

【会社オリジナルポスター】

【有給取得推奨日を赤色（休日）表示】

### 取組の効果 2020年との比較

- ◎ 年間休日数 13日増加（現在年間116日）
- ◎ 平均年次有給休暇取得日数 2.3日増加（年間12.2日）
- ◎ 年5日間の年次有給休暇の確実な取得



○ 業務の電子化と情報の共有化の推進

作業時間を減らし、時間管理意識を向上させるための取組として、

- ・情報の共有化
- ・コミュニケーションの迅速化
- ・経理処理の電子化
- ・勤怠管理の電子化

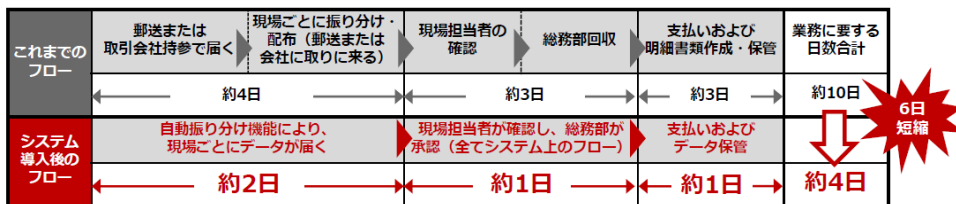
を行った。

※ 職員の意識統一のため、社内説明会を開催し、趣旨やメリットを説明

→ コンプライアンス意識、時間管理意識が向上

○ 経理処理の電子化

建設業向けの請求書処理 DX を県内 5 社で導入



【システム導入前後の処理フロー図】

取組の効果

- ◎ 処理日数を 6 日短縮（10 日 → 4 日）
- ◎ 協調領域の拡大により、協力会社間の業務負担軽減
- ◎ ペーパーレス化

○ 勤怠管理の電子化

時間外労働の上限規制を機に勤怠管理をクラウド化。

個人単位、現場単位、部署単位、期間（年・月・日）

による労働時間の客観的な把握が可能。

項目	通常	残業	遅刻	合計
平日	104:00			104:00
法定外休日				
法定休日				
合計	104:00			104:00

【勤怠管理システム】

○ グリーンファイル（安全書類）の電子化

- ・労務安全書類管理の効率化、デジタル化
- ・建設キャリアアップシステムとのデータ連携
- ・クラウドサービスのため、本社等からの後方支援が可能

各種帳票の法改正対応が不要	現場以外で帳票の管理が可能	施工体制台帳施工体系図を自動作成	帳票保管のペーパーレス化を実現
登録済みの情報から帳票を簡単に作成	提出済みの帳票も一斉に自動更新	期限切れ情報はアラートでお知らせ	FAXやメールでの提出は不要

【グリーンファイル電子サービス】

## ○ ITを活用した情報共有・コミュニケーション「はなれてつながる」

- Web会議システムによる会議、安全衛生協議会、安全教育の動画配信
- 遠隔臨場アプリやウェアラブルカメラ、iPadを使った立会を実施
- 社員へのスマートフォン貸与。ビジネスチャットで情報共有。

### WEB会議システム (R2~)

■ 毎週月曜日の早朝会議、月例の安全衛生協議会、安全教育の動画配信などに活用



### 遠隔臨場試行 (R2)

■ 国交省直轄工事において、遠隔臨場アプリやウェアラブルカメラ、iPadを使いながら立会を実施



### ビジネスチャット (R5~)

■ スマートフォン貸与開始と同時に導入  
■ 社長から職員に向けた朝のメッセージ  
■ 各部署からの鮮度の高い情報提供  
■ 既読確認で情報の未達も把握  
■ 安否確認等のアンケート機能でBCPにも高与



「はなれてつながる」ツールを活用して円滑な情報共有、意思決定・報連相の迅速化、現場業務の省力化を実現

## ○ 対面でのコミュニケーション

- 安全コンサルタントとの毎月の安全パトロール
- 女性社員による環境改善パトロール
- 田植え、稲刈りを社員で実施

労働安全コンサルタントとまわる社内安全パトロール (毎月実施)



女性社員がまわる環境改善パトロール (H20年~)



毎月の安全衛生協議会 (年4回ほどを対面で開催)



コロナ5類への移行を機に開催 田植え・稲刈り (R5,5月~)



■ ITだけでは得られない、五感で感じる仲間とのつながり  
■ コミュニケーションや安全意識の向上などに、ITとの相乗効果を期待

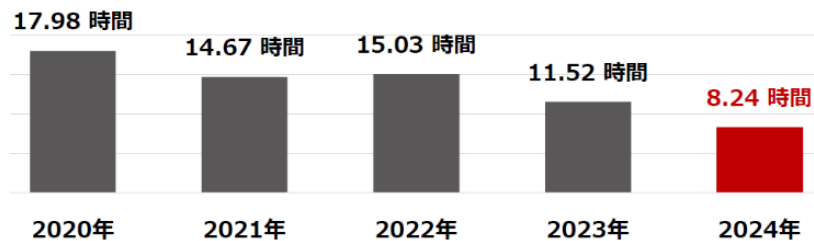
### 【社内の対面コミュニケーション】

## ○ 時間外労働削減の取組

- ノー残業デーの設置
- 時間外労働の上限規制 (関係法令) の社内周知



### 【会社オリジナルポスター】



### 【一人当たりの月平均時間外労働時間数の推移】

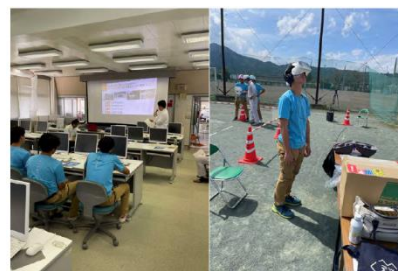
### 取組の効果

- ◎ 4年間で時間外労働を月平均で約 10 時間削減 (18 時間 → 8 時間)
- ◎ 意思決定・報連相の迅速化
- ◎ 現場業務、管理業務の省力化を実現

## ◆ 人材確保・人材育成に係る具体的な取組

### ○ 技術者の確保

- ① 地元及び県内の工業における出張セミナーを開催
- ② 県内建設系女子高校生との意見交換会(平成29年～)
- ③ 合同説明会へ参加し、建設業のやりがいを伝える



【出張 ICT 施工セミナー】

### ○ コア人材の育成

- ① 建設業協会主催セミナーへの参加(毎年)  
ICT施工研修、経理DXセミナーなどを通じて、コア人材を育成
- ② 資格取得の支援

#### ICT施工研修(H29～)

ICT施工の全工程を学べる全5日間の研修に、年齢・役職関係なく、これまで14人が受講



#### フォローアップ研修(H29～)

発注者からの情報提供、機器展示や業界トップランナーの事例発表などでi-Conの最新情報に触れる



#### リカレント研修(H30～)

同世代の仲間と基本的なスキルや新技術を学ぶ8日間



#### 建設業経理DXセミナー(R4～)

インボイス制度、時間外労働上限規制などを踏まえた経理・総務部門の生産性向上セミナー



【建設業協会主催セミナー】

### ○ 外国人材の活用

- ① バングラデシュの工事現場や大学、フィリピンの大学を視察
- ② 人材交流に向けた覚書を締結予定



【フィリピンの大学視察】



【バングラデシュの工事現場】

### 取組の効果

- ◎ ICTやDXを取り入れたことにより、採用希望者が増加
- ◎ 土木部に外国人技術者を1名採用(さらに1名採用予定)
- ◎ 新たな取組は、リスクもあるが、チャンスと捉える社風



## ◆ 建設現場における働き方改革

意見交換の中、現在、高崎河川国道事務所が発注し、沼田土建会社が受注している「R5国道50号前橋笠懸道路二之宮地区改良その4工事」の現場から工事概要や働き方改革の取組状況について説明いただいた。



【ドローン撮影による現場の全景】

### ○ 現場作業での省人化

- ① ICT施工（土工）による起工測量の短縮、丁張不要なため測量業務軽減
- ② ワンマン測量により、測量業務期間短縮
- ③ 電子小黑板による写真整理の効率化、出来形管理の効率化
- ④ 建設ディレクターの活用による書類作成業務の軽減
- ⑤ ラジコン型草刈り機使用による除草作業の効率化

**(1) 現場作業での省人化**

- ① ICT施工（土工）
  - ・ 起工測量の短縮
  - ・ 丁張不要なため測量業務軽減
- ② ワンマン測量（快速ナビ・杭ナビ）
  - ・ 自動追尾の測量器を使用し測量業務短縮

次ページに移転する

【現場における省人化の取組】

### ○ 現場事務作業での業務効率化（再掲）

- ① 経理処理の電子化
- ② 勤怠管理の電子化
- ③ グリーンファイル（安全書類）の電子化

### ○ 本社との連携

- ① クラウド活用による業務効率化
- ② ビジネスチャットによる迅速な情報伝達
- ③ Web会議システムによる会議や安全協議会への参加





【当日の現場作業の様子】

## ○ 発注者との連携

### ① BIM/CIM 活用工事

3次元データを作成し、安全管理・新規入場者教育訓練に活用

### ② コンクリート構造物の2次製品への変更

河川の大型<sup>かみきよ</sup>函渠をコンクリート現場打から2次製品に変更し、工期短縮・労務費の削減

### ③ 余裕期間工期の設定

契約締結後の準備期間が約1か月充てられるようになったことにより、現場着手時に集中する業務が緩和され、時間外労働の削減につながるため、現場からは助かっているとの声があった。

### ④ 書類スリム化、検査書類限定型工事の実施

必要書類の明確化による過度な書類作成の抑制、さらにスリム化ガイドのバージョンアップにより、現場からは助かっているとの声があった。

### ⑤ ウィークリースタンス（4週8休）

休日前や時間外の電話・メールを控えるなど、非常に配慮を感じているとの声があった。

## 取組の効果

- ◎ 現場作業の省人化による生産性向上
- ◎ ラジコン型草刈り機により、効率よく楽しく作業
- ◎ 発注者と連携し、時間外労働を削減

## ◆ 国土交通省関東地方整備局の取組

### ○ 建設業における時間外労働の上限規制への取組

発注者として、建設業の時間外労働削減を進めるための主な取組として以下の内容を実施していることを杉崎高崎河川国道事務所長から説明いただいた。

	項目	内容
1	働き方改革の強力な推進	① 週休2日制の実施 (発注者指定による月単位の週休2日の実施) ② 書類作成業務のさらなる負担軽減 ・ 土木工事電子書類スリム化ガイドの更新 ・ 検査書類限定型工事の標準化 ・ 工事関係書類の統一化 ・ 現場管理費の見直し ③ 工事現場環境の改善 (ウィークリースタンス) ④ 2024 相談窓口の設置 ⑤ 移動時間を踏まえた積算の適正化
2	現場での生産性向上の取組	⑥ 現場に関する生産性向上 ・ 3次元計測技術を用いた出来形管理の活用手引き (案) の更新 ・ 小規模工事 ICT 施工活用の手引き (案) の更新 ・ インフラ DX 大賞の創設
3	多様な総合評価の取組	⑦ インフラ DX 大賞の受賞企業を加点評価 ⑧ ワークライフバランス関連認定企業の加点評価を適用拡大

詳細については、国土交通省関東地方整備局ホームページをご覧ください。

[建設業における時間外労働の上限規制\(2024 関連\)](#) | [技術情報](#) | [国土交通省 関東地方整備局 \(mlit.go.jp\)](#)